



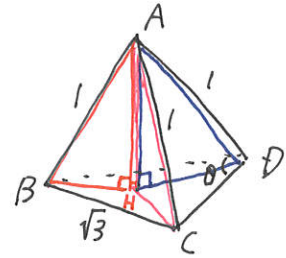
2014年理(数理科学)・医第3問

数理  
石井K

3 四面体 ABCD において, 1 枚目 / 2 枚.

$$AB = AC = AD = 1, \quad BC = \sqrt{3}, \quad \angle BDC = \theta$$

のとき, 次の問いに答えなさい. ただし,  $\frac{\pi}{3} < \theta < \frac{\pi}{2}$  とする.



- (1) 点 A から  $\triangle BCD$  を含む平面に垂線を下ろし, その平面との交点を H とする. 線分 AH, BH, CH, DH の長さを, それぞれ  $\theta$  を用いて表しなさい.
- (2)  $t = \cos \theta$  とする.  $\theta$  を一定の値に保ったまま点 D が動くときの四面体 ABCD の体積の最大値を,  $t$  を用いて表しなさい.
- (3) (2) で求めた四面体 ABCD の体積の最大値を  $V(t)$  とする.  $\frac{\pi}{3} < \theta < \frac{\pi}{2}$  の範囲で  $\theta$  が動くときの  $V(t)$  の最大値を求めなさい. ただし,  $V(t)$  が最大値をとるときの  $\theta$  の値は求めなくてよい.

(1)  $AH = h$  とおいて 直角三角形  $\triangle ABH, \triangle ACH, \triangle ADH$  に三平方の定理を用いて,

$$h^2 + BH^2 = h^2 + CH^2 = h^2 + DH^2 = 1 \quad \therefore BH = CH = DH = \sqrt{1 - h^2}$$

$\therefore \triangle BCD$  の外接円の半径は  $\sqrt{1 - h^2}$

一方, 正弦定理より, 外接円の半径は  $\frac{\sqrt{3}}{2 \sin \theta}$  であるから

$$\sqrt{1 - h^2} = \frac{\sqrt{3}}{2 \sin \theta} \quad \therefore AH = h = \frac{\sqrt{4 \sin^2 \theta - 3}}{2 \sin \theta}$$

$$\text{このとき, } BH = CH = DH = \frac{\sqrt{3}}{2 \sin \theta}$$

(2)  $\triangle BCD$  の外接円の接線が  $BC$  に平行のとき

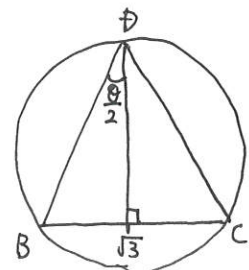
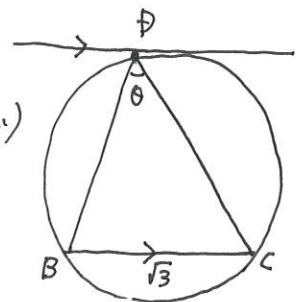
$\triangle BCD$  の面積は最大になる (高さが最大になるのよ)

このとき,  $\triangle BCD$  は二等辺三角形となる ( $DB = DC$ )

$$\therefore \triangle BCD = \frac{1}{2} \times \sqrt{3} \times \frac{\frac{\sqrt{3}}{2}}{\tan \frac{\theta}{2}} = \frac{3 \cos \frac{\theta}{2}}{4 \sin \frac{\theta}{2}}$$

$$\begin{aligned} \therefore V(t) &= \frac{3 \cos \frac{\theta}{2}}{4 \sin \frac{\theta}{2}} \times \frac{\sqrt{4 \sin^2 \theta - 3}}{2 \sin \theta} \times \frac{1}{3} \\ &= \frac{\cos \frac{\theta}{2}}{4 \sin \frac{\theta}{2}} \times \frac{\sqrt{4(1 - \cos^2 \theta) - 3}}{4 \sin \frac{\theta}{2} \cos \frac{\theta}{2}} \end{aligned}$$

2 枚目につづく





2014年理(数理学)・医第3問

3

四面体 ABCD において,

2枚目/2枚

$$AB = AC = AD = 1, \quad BC = \sqrt{3}, \quad \angle BDC = \theta$$

のとき, 次の問いに答えなさい. ただし,  $\frac{\pi}{3} < \theta < \frac{\pi}{2}$  とする.

- (1) 点 A から  $\triangle BCD$  を含む平面に垂線を下ろし, その平面との交点を H とする. 線分 AH, BH, CH, DH の長さを, それぞれ  $\theta$  を用いて表しなさい.
- (2)  $t = \cos \theta$  とする.  $\theta$  を一定の値に保ったまま点 D が動くときの四面体 ABCD の体積の最大値を,  $t$  を用いて表しなさい.
- (3) (2) で求めた四面体 ABCD の体積の最大値を  $V(t)$  とする.  $\frac{\pi}{3} < \theta < \frac{\pi}{2}$  の範囲で  $\theta$  が動くときの  $V(t)$  の最大値を求めなさい. ただし,  $V(t)$  が最大値をとるときの  $\theta$  の値は求めなくてよい.

(2) のつぎ.

$$\therefore V(t) = \frac{\sqrt{1-4\cos^2\theta}}{16\sin^2\frac{\theta}{2}} = \frac{\sqrt{1-4\cos^2\theta}}{16 \cdot \frac{1-\cos\theta}{2}} = \frac{\sqrt{1-4t^2}}{8(1-t)} //$$

$$(3) \quad V'(t) = \frac{\frac{1}{2} \cdot \frac{-8t}{\sqrt{1-4t^2}} \cdot 8(1-t) - \sqrt{1-4t^2} \cdot (-8)}{64(1-t)^2}$$

$$= \frac{1-4t}{8(1-t)^2\sqrt{1-4t^2}}$$

t	(0)	...	$\frac{1}{4}$	...	$(\frac{1}{2})$
V'(t)		+	0	-	
V(t)		↗	$\frac{\sqrt{3}}{12}$	↘	

極大

$$\frac{\pi}{3} < \theta < \frac{\pi}{2} \text{ より } 0 < t < \frac{1}{2}$$

∴ 右の増減表より.

$$V(t) \text{ の最大値は } \frac{\sqrt{3}}{12} //$$